

科目名	総合科目（チベット仏教入門ⅡA）				学期	後期	単位数	2	担当者	テンジツ・ウセル
副題	仏教の基礎を学ぶ									
ナンバリング	G1-02-322	授業方法	講義	実務経験の有無			無	関連DP		1

授業の目的と概要

チベット仏教ゲルク派の最高学位取得者（ゲシェー・ハランバ）である担当者から、仏教の基礎を一から学ぶ。

授業の到達目標

チベット仏教に関する基礎知識を修得する。

授業計画

1. ガイダンス
2. 三帰依
3. 六加行法
4. 十不善と十善
5. 四諦
6. 四諦（続）
7. 八正道
8. 十二因縁
9. 十二因縁（続）
10. 生死輪
11. 生死輪（続）
12. 六波羅蜜
13. 六波羅蜜（続）
14. 空
15. まとめと総括

準備学習（予習・復習）・時間

事前学修として配布資料を読んで覚える（90分）。

事後学修として習ったことを暗記し自分のものにする（90分）。

テキスト

教員が用意する。

参考書・参考資料等

教室で指示する。

学生に対する評価

授業参加の積極性（60%）、習熟度（40%）。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

- （C）授業で取り上げた仏教用語を説明できる。
- （B）仏教の教えの概要を説明できる。
- （A）仏教の教えを詳しく説明でき、かつチベット語の簡単な文章を理解できる。
- （S）仏教の教えを詳しく説明でき、かつチベット語の経典を読むことができる。

課題に対するフィードバックの方法

質問や意見については、毎回の授業の中でフィードバックを行う。

その他

併せてチベット語を取ることが望ましい。

実務経験のある教員が行う授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業内容か）